



兵庫協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2023 3



1月20日、兵庫県生協連「第21回税務・経理講習会」をオンラインで開催し35名（11会員生協、5関連会社）が参加しました。（関連ページP5）

概要

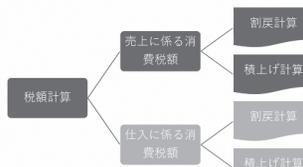
①生協（課税事業者）は事業者（取引先や仕入先等）が発行する適格請求書（以下「インボイス」ともいう）を保存しなければならない

②適格請求書発行事業者となった生協は組合員に対し、インボイスの交付を求められた時は交付しなければならない。また、電磁的記録として提供することもできる（法57の4①⑤）

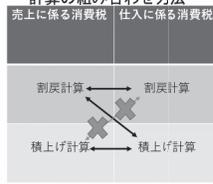


インボイス制度の特徴 税額計算方法

税額の計算方法が限定される



計算の組み合わせ方法



売上に係る消費税額の積上げ計算と仕入に係る消費税額の割戻し計算の組み合わせはできない。

※従来売上に係る消費税額を積上げ計算していた法人であっても、インボイス制度では「請求書単位」での税額を積上げことになるため、売上げに係る積上げ計算ができなくなる可能性もある





姫路市民共済生活協同組合 代表理事理事長
兵庫県生活協同組合連合会 監事

柏原 浩明
(かしはら・ひろあき)

初めての転職・・・新たな出発

兵庫県生活協同組合連合会のみならず、今年度から監事を務めさせていただいております柏原（かしはら）でございます。

私は、昭和60年に姫路市消防に採用され、昨年の3月末に定年退職しました。消防士になったのは、単純に現場活動があり身体を動かすことが好きだから選んだ記憶があります。

入局当初は、救助隊員、救急隊員、警防隊員として、現場の第一線で活動していました。

今のように装備も充実していない中、救助現場では十分な安全対策もなく、救急現場では感染対策もなく、火災現場では鼻の中まで煤で真っ黒になりながらの活動でした。

消防では、消防救急課長、消防署長、最後は消防（局）長として勤務し、最後の2年間は、コロナによる救急受け入れ問題、職員の集団感染による消防業務の継続対策など、今でもまだまだ大変ですが、退職辞令を受けたときは、本当に肩の荷が下りて、妻から顔つきが落ち着いたねと!!「毎日、家でどんな顔で、どんな態度だったのかと??」

そして、昨年4月から姫路市民共済生活協同組合の理事長として就任させていただいております。

「市民の安全・安心を守る」ことの重圧から解放されたといいながら、初

めて経験する共済事業の職責・職種にプレッシャーを感じ、戸惑いながらの毎日を過ごしています。

そして追い打ちをかけるように、毎日のように値上げ、コロナ、ウクライナ、電気需要のひっ迫など報道されており、先行きが不透明なことばかりで、悲観論や不安感が漂っています。

そのような社会情勢の中、当組合では、以前からもシルバー層だけでなく、若年層にも加入して頂けるよう取り組みたいところですが、コロナ禍が追い打ちとなり、今までの方法も通用せず、その成果・実績は芳しくない状況が続いています。

まずは職員が知恵を出し合い、将来への継続と発展に挑んでまいります。

火災や事故等の災害がない社会を実現することが一番ですが、現実社会では考えられないことなので、なにはともあれ、いざという時に困っている時に助けてもらえる「備え」「安心」と：組合員に頼れる組合として思っていたことが大切だと思っています。

医療、大学、購買の各生協の皆様と一つの「輪」となって、健全な事業活動の「継続、そして発展」、より生き生きとした、安心で豊かな地域社会を、一緒に実現していきます。

気分一新、心機一転：新たな使命感を持って！

CONTENTS

2. 想点
3. 兵協連 第5回理事会 報告／兵協連 3月～10月 行事予定
4. 第21回税務・経理講習会 報告／第13回 労働安全衛生研修・学習会 報告
5. 消費者教育支援事業 報告／事務局 人事異動 あいさつ

6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8. ひょうごまるごと健康チャレンジ2022 結果報告／県連行事予定／編集後記

2022年度 兵庫県生協連 第5回理事会報告

【開催日時】 2023年2月6日(月) 14:00~15:43

【開催会場】 兵庫県民会館 7階「鶴」

【出席者】 岩山会長理事、末松副会長理事、江見専務理事、
若生、中野、小谷、坂本、松永、森本、菅原、道上、清宮、(以上、理事)
瀬井、中川、柏原 (以上、監事)

協議事項

1. 2022年度決算見通しと2023年度予算計画案について
2. 2022年度活動報告及び2023年度活動計画案について
3. 「他の法人、団体への加入および脱退についての理事会議決の範囲」の決め方について
4. 「組合員の参加を考える研究会（仮称）」の新設について

報告事項

1. 分野別生協・団体（出席理事、監事）からの状況報告について
2. 2023年度第73回通常総会に向けての手順とスケジュール案について
3. ひょうごまるごと健康チャレンジ2022実績報告
4. その他 兵協連行事・諸活動報告（12/6～2/6分）
5. 2023年2月～兵協連主要行事スケジュール

2023年3月～10月兵協連主要行事

年	月	日	兵協連・主要行事／研修	場所	時間
2023年	3月	20(月)	兵協連三役と事務局との連絡会	兵協連事務所	10:30-12:30
	4月	10(月)	第6回 兵協連理事会	県民会館 鶴	14:00-16:00
	5月	22(月)	兵協連三役と事務局との連絡会	兵協連事務所	10:30-12:30
		22(月)	第3回 監事会（期末監査）	兵協連事務所	15:00-17:00
	6月	5(月)	第7回 兵協連理事会	県民会館 亀	14:00-16:00
		26(月)	第73回 兵協連総会・第1回理事会	パルテホール、1201	14:00-16:00
		26(月)	第73回兵協連通常総会レセプション	県民会館 鶴	16:15-17:30
	8月	7(月)	第2回 兵協連理事会	県民会館 鶴	15:00-16:15
		7(月)	第22回 兵庫県県民生活部と兵協連理事会との意見交換会	県民会館 鶴	16:30-17:30
		23(水)	近畿地区生協・行政合同会議	京都府	13:30-16:30
	10月	2(月)	第3回 兵協連理事会	県民会館 鶴	14:00-16:00
		26(木)	兵庫県生協大会	けんみんホール	13:00-16:00

兵庫県生協連 「第21回税務・経理講習会」を開催



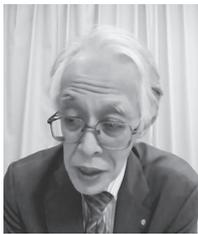
講師 江藤俊哉 税理士

1月20日、兵庫県生協連「第21回税務・経理講習会」をオンラインで開催し35名（11会員生協、5関連会社）が参加しました。

税理士の江藤俊哉氏から「消費税インボイス制度」の解説や税務との関連を中心に「電子帳簿保存法」について講義いただきました。

資料をもとに詳細で具体的な説明があり、「取引先が免税事業者なのかどうかの調査と対応が難しいと感じた。今から対応する必要があると思った」「オンラインでの開催は参加しやすく、今後も継続してほしい」「質問しやすい雰囲気、丁寧に回答いただき良かった」などの感想や要望が寄せられました。

兵庫県生協連 「第13回労働安全衛生研修・学習会」を開催



講師 外井 浩志 氏

日 時：**2月10日 14:30~17:00**

開催方法：**オンライン（Zoomウェビナー）**

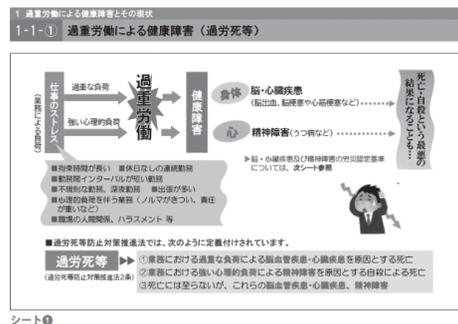
4会員生協・5関連会社より33人が聴講しました。

テーマ：**「従業員の健康管理と産業医等の活用
～健康に生き生き働ける職場づくりのために～」**

講 師：**弁護士 外井 浩志 氏**

過重労働防止に関連する基本ルールや裁判例の解説、企業の事例紹介など「実務的に使える健康管理のために必要な知識やノウハウ」を実際に取り組める事例の紹介などを盛り込み、詳しくご講演いただきました。

人が集まり、安心して働き続けられる職場とするために、今私たちがやるべきことや、過重労働の現状と企業経営に与える影響、労働時間等に関する基準などの大切なポイントも解説いただきました。



『笑って学ぼう 新成人の消費者トラブル』

日 時：2022年12月25日 14:00～15:45

場 所：兵庫県民会館 10階「福」

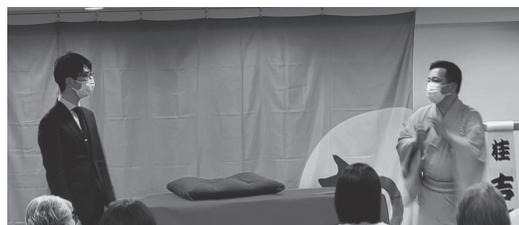
講 師：吉江 直記氏（司法書士、適格消費者団体認定 NPO 法人ひょうご消費者ネット理事）

落 語：桂 吉弥さん、桂 弥っこさん

参加人数：20人

2022年4月から成年年齢を引き下げる「民法の一部を改正する法律」が施行され、高校生や大学生の消費者被害の増加が懸念されていることを受け、兵庫県消費者教育支援事業の補助金を使用し「若者の消費者被害をみんなで防ぐ～笑って学ぼう 新成人の消費者トラブル～」講座を開催しました。

第一部では、司法書士の吉江直記氏が、実際に受けた高校生や大学生の相談事例を示しながら、「万が一、契約トラブルに巻き込まれたらクーリング・オフ制度や消費者ホットラインの利用を」と対処法を話されました。第二部では、落語家 桂吉弥さんと弟子の桂弥っこさんが「笑って被害に勝つ！」と題して、落語とともにLINE（ライン）のアカウント乗っ取りなどの体験談を面白おかしく紹介しました。その後、吉江氏と吉弥さんが対談し、軽妙な掛け合いで参加者からの質問にも笑いを交えて回答しました。



講師 吉江直記氏 と 落語家 桂吉弥さん

兵庫県生活協同組合連合会より ～事務局人事異動あいさつ～

●着任のご挨拶

久保 清美

このたび、コープこうべより着任いたしました久保清美と申します。

これまで、コープこうべの店舗、人材開発部、関連会社、組合員活動、企業年金基金に携わってきました。今回、このような生協の原点と言える活動、幅広い活動にかかわることができることに感謝し、生協職員として気持ちを引き締めて取り組まなければと感じております。不慣れで何かとご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、会員生協の皆様のお役立ちができるよう、日々努力を重ねて参ります。前任者同様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



●離任のご挨拶

大戸亜津子

多くの方と出会う機会を与えていただいたことへの感謝を着任時の「兵協連だより」に書きました。兵庫県生協連を離れても、この気持ちは変わりません。今年の「1.17のつどい」で灯籠を使って形作った文字は「1995むすぶ1.17」。今までの多くのご縁に感謝するとともに違う形でこれからもご縁を結んでいけたらと思っております。ありがとうございます。皆様の益々のご活躍とご発展を心からお祈りしております。



協同組合のかけ橋

JF

JF 兵庫漁連

「虹の仲間で森づくり」 ～神出神社(神戸市西区)周辺で開催～

12月3日、神戸市西区にある雌岡山(神出神社周辺)で「虹の仲間で森づくり」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが、JF 兵庫漁連 田中 久善 部長より挨拶を、またNPO法人「ひょうご森の倶楽部」山下 広行 会長より作業の注意事項の説明をいただき、その後、全員で準備運動を行いました。

開会式終了後、ヘルメット姿の参加者は11班に分かれ、ひょうご森の倶楽部の指導員の方々に誘導され、次々に森に入りました。指導員の方から作業の説明を受け、参加者は周囲に気を配りながら、広葉樹や花の咲く樹を残し、常緑樹や蔓性の植物を除伐します。約1時間半の作業を終えると、参加者の皆様から「目に見えて日が差し込むようになった」と嬉しそうな声が聞こえてきました。

除伐作業終了後は、兵庫のりやコープこうべの店頭で購入することができる県産水産物の加工品、アナゴ丼等を配布して短めの昼食・交流会を行い、生活協同組合 コープこうべ 金子 博子 理事より閉会の挨拶をいただきました。

先月11月に全国育樹活動コンクールにて林野庁長官賞を受賞した本活動ですが、何度も繰り返してご参加いただいている方が多い印象です。コロナ禍により通常通りの開催はできませんでしたが、参加者の皆様には海と森のつながりを体感できる活動になったのではないかと感じています。



参加者による除伐の様子

JA

JA たじま

営農指導や食農教育等を行い、 岩津ねぎブランドを守り続ける

朝来市内のみで栽培される岩津ねぎは、甘みが強く、柔らかく、青葉から白根まで余すことなく食べることができる高品質な地域ブランドとして阪神間を中心に販売されています。現在は、18haの面積で、JA たじま岩津ねぎ部会(以下、「同部会」という)の部会員139人によって栽培されています。

同部会に所属する福本学さんは、4年前に大阪府から朝来市に移住し、90aのほ場で約18万本の岩津ねぎを栽培しています。定期的に土壌分析を行い、不足している成分を調べることで、施肥量の効率化や品質の向上に励んでいます。福本さんは、管理するほ場や出荷された生産物が評価され、令和3年度岩津ねぎ部会の品評会で最優秀賞である兵庫県知事賞を受賞しました。

JA たじま和田山総合営農生活センターの長島剣太さんは、同部会員に対し日々の営農指導や生育調査のほか、年4回の講習会を開催しています。また、生育調査を行うことで病害虫の発生の有無や管理状況を確認し、同センターの掲示板や同部会員向けのLINEアカウントで情報発信をしています。

福本さんは長島さんに対し「多い時には1日2、3回は場を訪れてくれて、肥料や農薬の相談や情報提供をしてくれる頼もしい相棒です」と話します。

今後も、JA たじまは岩津ねぎの生育調査や講習会等の営農指導、めぐりキッズスクール等の食農教育に取り組みます。



岩津ねぎの生育状況について話す福本さん(左)と長島さん



家庭用蓄電池の勧誘トラブルにご注意!



Q

10年前、自宅に太陽光パネルを設置した70代の父のもとを業者が訪ねてきて、「売電価格が下がるので家庭用蓄電池はお得。災害時も安心」と設置を勧めました。300万円を15年ローンで支払う契約を交わしたようですが大丈夫でしょうか。(40代、男性)

A

太陽光発電を普及促進するために、太陽光発電の余剰電力を買い取る「余剰電力買取制度」が2009年に始まりました。この制度では、固定価格で電力を買い取ってもらえますが、買取期間は制度の適用を受けてから10年間と定められているため、2019年以降は順次、買取期間の満了を迎えています。満了後は、①「家庭用蓄電池」などを設置して自家消費する、②小売電気事業者などと個別に契約し余剰電力を売る、といった選択肢があります。②の場合、買取価格は10年前の固定価格よりかなり安くなるのが現状です。この買取期間満了を機に、太陽光パネルや家庭用蓄電池の関連事業者による突然の訪問や電話勧誘が増えてきます。

今回の事例も、「売電価格が下がり電気代の負担が大きくなる中、災害時に役に立ち、絶対お得だ」などのセールストークで高額な家庭用蓄電池を販売していますが、消費者自身は具体的な経済的メリットや、今後の機器メンテナンスのコストなどデメリットを十分把握できないまま契約していました。訪問販売の場合、契約日を含めて8日間は無条件で契約を解除できるクーリング・オフ制度を利用できますので、契約内容を十分検討するためにクーリング・オフすることも一つの方法であると助言しました。

家庭用蓄電池の設置を検討する時は、

- ①突然の訪問や電話勧誘に対して、不要であればきっぱり断る
- ②急かされてもその場で契約せず、複数社から見積りを取り、慎重に比較検討する
- ③蓄電池の設置条件や使用上の注意、保守管理、運用コスト、補助金などを十分確認する
- ④補助金、融資などについて、県や市町の専門窓口にご相談することに注意し、困ったときには最寄りの消費生活センターに相談しましょう。



兵庫県立消費生活総合センター
☎ 078-303-0999

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

この冬は寒い日が続きますね。先日は、雪に見舞われて、平地でも積雪となりましたね。私自身、この辺りで、こんなに雪が積もったのは初めてではないか、という気がしています。私、雪を甘く見ていました。雪が降り始めたかと思うと、ほんの1時間や2時間。あたりが真っ白に変わり、別世界となっていました。幸い、電車で帰宅できましたが、もう少し遅くなっていたら、帰宅難民となっていたかもしれません。

さて、ひょうご消費者ネットの学習会で大久保育子先生がおっしゃった「知らない人に、自分の個人情報や大切な情報、例えばクレジットカード番号、携帯電話番号、暗証番号などを教えないで」と啓発するのは、SNSが浸透している現代社会で「難しい」と言ったことについて、お話を続けます。なぜ「難しい」のか、それはSNSを通じて知り合った人が「知らない人」ではないからだということです。例えば、インスタグラムやツイッターを通じて連絡を取り合った人は、すでに「知っている人」。実際に会ったことがなくても、実際の住所や連絡先を知らなくても、「知っている人」になってしまうのだそうです。だから、そのような人にも、自分の大切な情報を教えてしまうのだそうです。そこからトラブルに発展してしまうのですね。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

ひょうごまるごと健康チャレンジ2022結果報告



「ひょうごまるごと健康チャレンジ」は運動・生活習慣・リフレッシュ・食事など、20のコースから選んだものを継続することで楽しみながら健康な生活習慣を身につける取り組みです。2022年度は7月20日～11月30日に実施し、昨年を上回る約5,000人が参加しました。

「参加者の」感想から…

- 食事コースを頑張った。間食の量も半分にした。その結果、最初は野菜からや間食半分が苦痛だったが身体が軽くなり楽しくなりました。
- エレベーターを使わず階段を上っていると足が段々と動くようになりました。
- 塩分控えめ腹八分目で気をつけました。食事は大切です。
- 食べ物の好き嫌がなくよく噛んで食べていたら、タバコをやめることができました。
- 夏休みに毎日頑張って早起きして走ったら足が速くなりました。
- 少しの時間でもストレッチをするように心がけ、呼吸も意識して行った結果、姿勢がよくなり体の痛みも軽減している気がします。
- マイチャレンジカレンダーをつけるのが楽しかったです。



連合会の会員生協で構成する「ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会」では、より多くの方が自分に適した「健康チャレンジメニュー」をみつけて、継続的に健康づくりができることを目指し、次年度に向けた準備を始めています。

30回マイチャレンジ カレンダー

わたしがチャレンジするのは

*チャレンジするコースは複数でもOK!

中身のメニュー名から選んだり、自分流の取り組み項目を決めて書き込もう
※自分流の場合も、することを具体的に書こう!



県連行事予定

- 3月7日(火) 兵庫JCC 第4回幹事会 (県民会館 901)
- 3月9日(木) ひょうご消費者セミナー (オンライン)
- 3月17日(金) 兵協連 第3回 医療生協部会 (オンライン)
- 3月17日(金) 兵協連 第3回 保健・医療・福祉研究会 (県民会館 302)
- 3月24日(金) 兵協連 第5回 生協活動委員会 (県民会館 901)

編集後記

寒かった今年の冬も終わりが近づいてきました。3月は「弥生」。弥生の漢字「弥(いや)」は、ますます・いよいよという意味が、「生(おい)」は草木が芽吹く、という意味があり草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月(きくさいやおひづき)」が詰まって「やよい」となったそうです。そんな、新しい春の訪れの3月ですが、2月6日にトルコ共和国で発生した地震への物資や医療、教育の支援のための寄付、そして情報が伝わってこない内戦が続くシリアの人々への人道支援の不可欠を感じています。災害や紛争への対処を通じて生協職員として平和への願いを考へる毎日です。

(吉本)

